

新潟支部30周年記念 特別講演会

パナマ運河と地すべり

第30回シンポジウム

大規模土工と地すべり

2002. 5. 10

主催 (社)日本地すべり学会新潟支部
共催 地盤工学会北陸支部
後援 新潟県新潟県地質調査業協会
地すべり対策技術協会新潟支部

シンポジウムの目的

近年、公共事業の縮減の大きな波が広がってきています。新潟県内でも多くの公共事業が行なわれ、社会資本整備が図られてきました。公共事業のなかでも、ダム・道路工事等は大規模な土工を伴うことがおおく、しばしば、地すべりなどの斜面災害を引き起こすことがありました。現場技術者の努力により、これらの問題を克服し工事を完成してきたことも少なからずあります。

そのような現場の貴重な経験と技術を何とか取りまとめ、後世に伝えることが大きな課題になってきています。今回のシンポジウムはそのような機会の始まりとなればよいのではないかと考えております。

過去の経験にまなび、過去の失敗を繰り返さないこと、さらに新しい時代に生かすことが、いま求められている、経費縮減の第一歩になるのではないのでしょうか。

文責 事務

目 次

| | | |
|---|---|---------------------------------|
| 1 | 上信越自動車道建設工事に伴う大規模土工と地質的問題点 —主として新井P A～上越J C T間のノリ面安定化対策— | P 1 |
| | 日本道路公団北陸支社 株式会社中部日本鉱業研究所 鹿島建設株式会社 株式会社地盤解析研究所 | 田川 義弘 野崎 保 松林 健朗 大森 晃治 |
| 2 | 大河津分水路と地すべり | P 23 |
| | 国土交通省 信濃川工事事務所 株式会社 キタック | 五十嵐 晃 伊藤 哲雄 |
| 3 | 大河津右岸地すべり | P 31 |
| | 新潟県 土木部砂防課 | 小野田 勲 |
| 4 | 大谷ダム建設工事と地すべり対策 | P 39 |
| | 新潟県 土木部河川整備課 | 関 秀明 |